

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 3 月 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100603		
法人名	森信建設株式会社		
事業所名	グループホームなでしこ温品		
所在地	〒732-0033 広島市東区温品5丁目7番1号 (電話) 082-280-3596		
自己評価作成日	令和2年12月16日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100603-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100603-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年2月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

「ゆったり、のんびり、ほがらかに」を理念とし、利用者様に寄り添ったサービスを提供できるように取り組んでいる。昨年よりスマートフォン・タブレット端末で様々（血圧・体温・食事量・水分量・排泄・ケース記録）な記録を行える介護記録アプリを導入し紙媒体からデジタル化に移行する事で、職員同士の情報共有の簡潔化・作業時間の効率化を図った。その結果、記録にかかる時間が短縮され、ご利用者様への日々のケアに充てる時間が増加した。また今年度は新型コロナウイルスの影響が大きく、毎年恒例のご家族様を呼んでの敬老会等の行事の中止、面会制限など例年とは大きく変わり戸惑いもあったが、各フロアに分かれて職員・利用者様のみの敬老会・クリスマス会の行事の開催実施、面会は玄関にてドア（内扉）越しで面会して頂けるようにし、withコロナ時代に対応すべく努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

日常から事業所に隣接する保育園より園児の元気な声が響き、活発な園児の姿を見られることで利用者も自然と笑顔が増え和める環境がある。保育園との継続した交流や、町内会に加入し行事や防災訓練など協働して行うことや地域ボランティアの受け入れなど多くの関わりを持ち地域に根差すよう運営している。昨年よりスマートフォン・タブレットで介護記録アプリを導入し、記録業務の迅速化や情報共有の簡潔化など作業効率の向上が図られたことで利用者に関わる時間が増え支援の向上に繋がっている。又、テレビでユーチューブが見られるようにし体操や活動のバリエーションを増やす等設備や環境面で配慮している。食事も3食手作りであり、専属の調理職員が配置されていることで利用者の意向が献立にも反映しやすく、料理も美味しく食べることができ、日々の楽しみを感じながら過ごすことができている。

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の申し送りを各階でするようにしている。また日々の業務の中で理念に添う様努めている。新人職員には暗唱できるように指導している。	開設当初からの理念「ゆったり、のんびり、ほがらかに」を朝礼で唱和し、職員全員が周知し日々の実践に努めている。代表の訪問も多くあり職員との意見交換の中で方針を適宜伝えており、職員全員で一貫した取り組みとなるように意識している。今後、個人目標の策定を行い職員の資質の向上に向け検討をしている。	理念について唱和は行っているが管理者が適宜指導を行う体制である。定期的な面談も行っていない状況下であり、全体での理念の共有や個別に意識を持てる機会を作ることや、支援内容を理念に沿って行えているか職員自身が振り返る機会を持つなど、職員個人に理念や方針の理解を深めていける取り組みを行うことを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウイルスの影響により、3月以降温品保育園との交流や地元傾聴ボランティアの方々への訪問、エレクトーン演奏等は自粛していただいている。終息次第、再開して頂くようお願いをしている。	コロナ禍であり自粛が続いているが、普段より日々の散歩にて近所の方との会話や花を頂くなど身近な交流がある。町内会に入会しており、集会や防災訓練に参加することや地域の行事に参加するなど繋がりや関係性を深めている。隣接する保育所との継続的な交流や地域ボランティアの来所など多くの関わりがある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	保育園の避難訓練の受け入れ（駐車場まで）を継続して行っている。6月には大雨警報があり、実際に施設内に園児の受け入れを行った。新型コロナウイルスの影響により園児の慰問は現在は無いが、受け入れ態勢が整えば再開して頂けるよう保育園とも話している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルスの為、今年度はほとんどの会を中止させて頂いたが、ご家族皆様には毎月の請求書に意見・要望書を同封し、一方、町内会、地域包括支援センターの方、訪問看護師、隣接の保育園の方へは事前に資料を配布し、意見の収集、情報交換等を行っている。	町内会長や民生委員、地域包括支援センター職員や訪問看護師、保育園園長など様々な関係者の参加にて活発な意見交換を行っている。地域より防災のアドバイスを受けることや民生委員から言葉遣いについて指摘を受け、外部接遇研修の実施を行い職員同士で見直すきっかけになった。議事録も全家族に送付し周知に努めている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議開催の時は地域包括支援センターの方、介護保険課へ開催のお知らせと出席のお願いをしている。また書面による会議開催後の報告書は毎回介護保険課に提出している。本社あてに介護保険課からの通達等は都度メール配信されており、情報を収集し対処している。	運営推進会議で地域包括支援センターと意見交換を行っている。勉強会兼認知症カフェを開催しており、現在は感染症対策のため中止となっているが再開できる情勢になれば継続できるように依頼がある。市の主催する研修にも積極的に参加している。	

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束等適正化のための指針」に沿ってフローア・全体会議等で職員とは身体拘束の有無や対策についての話し意識向上を図っている。運営推進会議を同上適正化委員会と位置付けて身体拘束の有無などの報告も行っている。居室のカギは施錠せず、玄関は犯罪防止の観点から常時施錠をさせて頂いている。</p>	<p>毎月のフロア会議、隔月の全体会議にて身体拘束について利用者毎の状況や予防対策などを話し合い確認している。運営推進会議で身体拘束等適正化委員会を設け、報告や意見交換の場としている。年1回研修を実施し職員への周知を深めていけるようにしている。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>入浴時などに体のあざが無いか観察し職員全員で情報を共有している。運営推進会議にて身体拘束と併せ虐待防止の有無についても報告も行っている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部評価にて第三者からの視点でホームをチェックして頂いたり、家族様や利用者様の話を聞いた情報を職員間で共有し話し合っている。成年後見人制度を利用されておられる方は現在おられないが、必要であれば研修を行う。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所前に所定の重要事項説明書や契約書、看取りの指針等を説明しご家族には内容を理解・納得して頂いたうえで契約、入居されている。又、入居後も本人様やご家族様にお話を伺い不安を取り除くように努めている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご面会・ご連絡時等に要望をお聞きしている。また運営推進会議の開催月の請求書に意見・要望書を同封し書面でも意見等をお聞きし職員に共有・反映をさせている。コロナ禍でご家族を交えた敬老の日の行事を休止しているがこれまで開催時にはご家族様との意見交換を行っている。外部評価のご家族様へのアンケートについては当ホームだけの個別ご意見の公開を求めており、運営に反映させるため実施後に提供されることを望んでいる。</p>	<p>面会や連絡時の他、おしゃべり会として敬老会やクリスマス会の行事で家族会を開催し意見や要望を聞いている。ZOOMを活用した面会の希望があり、実施に向けて調整をしている。利用者には日々の関わりから把握している。食べるものに関しての希望が多くあり、調理と相談し反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は代表者と毎日、メールで報告し指示を受けている。朝、夕の申し送り時や会議などで職員の提案や意見を聞いている。代表者は毎週1回程度訪れており、その際積極的に入居者や職員と意見交換や提案を聞いている。提案や修理・改善等対応も速やかにしている。	朝夕の申し送りや毎月のフロア会議、業務の中で職員の提案や意見を聞き、代表者は訪問時に職員との話す機会を積極的に持ち意見や思いの把握に努めている。休みや有給が取りづらい状況に、就業規則を確認し、公休の見直しや残業の削減など改善に繋がった例がある。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	就業規則を改めて確認し、残業時間の削減、毎月の休日数を8日→9日に増やすなど職場環境の整備・向上に努めた。また会社として色々な休暇制度(育児・介護・看護)がある事を伝え利用を促進している。会社は求人ホームページ等で「サービス残業はない」ことを明示し、実践している。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新入社員には担当者をつけ業務内容を教えたり話を聞くようにしている。今年度はリーダー研修受講、自施設での外部講師を招いての接遇研修などを行い介護だけでなく接客・接遇面での育成にも注力した。会社は新たな資格習得等のための費用を一時的に立替える制度を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	なでしこ富士見町や2月に新設されたなでしこ五日市の管理者、職員等と電話やメールで意見交換を行っている。代表者は同業6社で隔月で研修会に参加し情報収集や外国人の人材受け入れなど長期的な課題と取り組んでいる。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人様の希望になるべく添えるよう、不安や要望等をお聞きし、情報をフロア内で共有し、本人様が安心して頂けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時や入居希望の段階でご希望などを伺いしケアプランに反映させるとともに、提供する必要なサービス等を説明し、ご検討をさせて頂いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人様・ご家族様双方のご意見をお聞きし、ご相談をさせて頂きながら、ケアマネを交えて必要なサービス等の利用を検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人様の時間を大事にして頂き、タイミングや状況を見ながら、その日その日に応じて他のご利用者様や職員と雑談やレクなどを一緒に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様に変化があれば、ご家族様にご連絡し、相談に乗って頂きながら、協力し本人様を支えていくように心掛けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>コロナ禍の中、ご家族様やご友人の方等のご面会は、事前にご連絡を頂き、ユニット入り口のドア越しにて面会できるように対応を行っている。またお手紙やメールなどの連絡手段もあり、関係が途切れないように支援している。</p>	<p>入居時に馴染みについて確認し、個々に生活の背景を把握している。習字を書いたり、手紙のやり取りにおいても自身で書けない方に代筆を行い継続ができるように支援している。コロナ禍で自粛しているが、帰宅への思いや思出の場所にも家族の協力を得ながら連れていくなど個別に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>ご利用者様同士の相性や関係性を把握しながら、時には職員が間に入り皆様で楽しく会話出来る様に支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>サービス終了後もご相談があれば支援を行っている。また近所のスーパーで出会う事もあり、その時は挨拶をさせて頂いている。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>ご利用者様本人にお話を聞かせて頂いたり、普段の様子なども踏まえ、本人様が落ち着いて穏やかに過ごして頂けるように努めている。</p>	<p>日常生活の中でテレビや歌など興味があるものにおいて利用者の様子を観察しながら、個人の趣向把握の周知に努めている。家族にも随時好きなものや性格などを聴くことで、家族になら気軽に話せる部分も含め個人の思いを深く汲み取っていけるようにしている。職員間でも情報をしっかり共有し利用者本位の支援に努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>ご家族様、本人様にお話を伺い今までのお仕事や趣味・特技・好きな事・性格などの生活歴を伺い情報の把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>日々の様子・心身の状態（血圧・体温等）を記録し、また普段より顔色や表情なども毎日意識して見る様に職員にお伝えし、申し送りや記録媒体などで情報を共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族様・本人様双方の希望を聞き、それを基にアセスメント・ケアプランを作成している。また面会時などでも随時ご家族様より要望をお聞きし、できるところは最大限に努力している。</p>	<p>職員の気付きがあれば随時報告を行い共有している。担当職員が日頃の関わりから詳しく事情を把握しながらアセスメントを行い、計画作成者と相談し管理者の確認を踏まえ介護計画を作成している。医療面においても主治医や訪問看護と連携し意見を確認し反映している。半年ごとに見直しを行い適宜計画に繋げている。</p>	
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>昨年秋よりケア記録をクラウド化し日々の記録を共有している。ヒヤリハットや事故報告も他の2施設と共有し、積極的に職員が気付いたことをアップし確認をしている。ご家族様に相談が必要であれば、連絡・相談し一緒に方向性を検討させて頂いている。</p>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ変わるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族様の状況をお聞きしながら、ご家族様と相談し、必要であれば職員対応で病院受診等を行っている。</p>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>散歩時などは保育園の先生や園児に挨拶したり、声を掛けられたりし、よりよい関係づくりに努めている。運営推進会議には園長が出席され、行事などの情報交換を行っている。また近所の方には年に数回お花を頂いている。</p>		
30	11	<p><b>○かかりつけ医の受診支援</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご家族様・ご利用者様にかかりつけ医がおられる事お伝えし、2週に一回内科と歯科の往診を受けて頂いている。また、10月から会社の紹介でご家族・かかりつけ医の同意のもと必要に応じて神経内科の往診を受けることが可能となった。必要に応じてかかりつけ医の病院まで受診にお連れしている。</p>	<p>以前からのかかりつけ医の継続も可能であるが、協力医の往診が2週間に1度のペースで行われ、体調不良など必要に応じて対応が可能であり支援しやすい体制があることでほとんどが主治医を変更している。専門科には家族の協力を得ながら受診を行っている。必要に応じて訪問リハビリや訪問マッサージを受ける利用者もいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>週2回の訪問看護があり、その都度ご利用者様の状態を伝え、より良い看護が受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時には関係先の病院と情報交換を常に行い、かかりつけ医や看護師とも相談し退院しても再び戻ってきて頂けるように支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>「重度化された場合の対応に係る指針」、緊急時の対応について契約時や入所前のご説明でお話をさせて頂いている。看取り期に入った際には改めて医師・看護師の指示等を受け、看取りについてご家族様に説明し、同意書をいただいている。その後は常に日々の状態を記録し看護師・かかりつけ医に相談し、その上でご家族様にも現在の状況を報告し、今後の対応についてご相談を行っている。</p>	<p>入居時に重度化された場合の対応に係る指針を説明し意思の確認をしている。看取りも実施しており、状態が変化した際には再度意向を確認し、主治医や訪問看護と随時相談し連携を基に計画を職員全員で検討し支援している。タブレットのアプリ機能にて法人内他事業所の看取りの事例が確認でき、参考にしながら支援に活かしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>フロア会議や申し送りで緊急時の対応や状況を共有している。発生時の状況など振り返り次はもっといい対応が出来る様に話し合いを行っている。事故報告にも記録し、いつでも過去の記録を検索して見れるようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>非常災害マニュアルをもとにご利用者様にも参加して頂き、火災時を想定した避難訓練を行って消防署にも報告している。運営推進会議などで地域の方に災害時の見守りをお願いしている。会社では2021年度以降に求められるBCP(事業継続計画)の策定準備をしていると聞いている。</p>	<p>消防避難訓練を年2回実施しており、その内1度は消防署と協力し行っている。災害別のマニュアルを網羅し有事に備えている。隣接の保育所とも協力関係が構築されており、6月の大雨では実際に園児が事業所に避難した例がある。法人では災害に対してより一層考慮した事業計画案を策定して行く方針である。</p>	

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	そのご利用者様に合わせた声掛けを心掛けています。職員間で情報を共有し、声のトーンや言葉遣いなど注意し尊厳を傷つけない対応に努めている。	声掛けの一つひとつに利用者の反応や様子を観察し、この方にはこのような声掛けが良かったなどケースを日々の申し送りで共有し職員全員で周知し利用者個別に検討している。職員間で言葉遣いなどに注意しながら統一した声掛けが行える様に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	必ず本人様に声掛けをし本人様に色々な物事・事柄を自己決定して頂くように促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のその日その時の気分や機嫌・体調を考慮しながら、生活リズムを崩さないようにどう過ごしたいかを聞いたりして落ち着いて過ごして頂けるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日の更衣時に着る服を相談しながら季節に合わせて好きな服を着て頂くように支援している。また毎月理美容の方にも来ていただき、散髪などのサービスも提供している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	毎月の献立表を掲示板に貼り、いつでも見れるようにしている。ごますりや野菜・果物のカットなど出来る範囲で手伝って頂いている。食事の下膳やお盆拭き、片付けも一緒にして頂いている。	調理専属の職員が配置されており、好みを献立に反映しやすい状況である。誕生日月には好きなものを伺い、リクエストに応じて提供しお祝いしている。時折、おせちや鰻など出前を取ったり、調理レクを実施するなど楽しみに繋がるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	入所者の水分・食事は毎日記録している。会社から提供された献立表はカロリー計算に基づいたものであり、これを参考に、調理担当職員が材料を見ながら栄養バランスやカロリーを考えた献立を工夫して作成・調理している。向原の農家から届く玄米を自家精米して手作りの食事を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを行っている。毎月1回歯科医、歯科衛生士の往診があり、口腔衛生の事はもちろん食事形態や食に関する事なども相談し個々に合ったケアに努めている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を作成し、排泄のデータを基にトイレ誘導、自力でのトイレでの排泄、夜間のオムツ交換の回数を減らすように支援している。	排泄表がタブレットにてデータが容易に確認でき、個人の排泄パターンを把握しそれを基に個々に合わせ誘導や介助を行い自立支援に繋げている。最後までトイレで排泄が行える様に検討を行い尊厳を大切にされた対応を心掛けている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄表を作成し、排泄状況を把握し主治医、看護師と排泄状況を相談させて頂いている。また食事には自家製ヨーグルトや牛乳をお出しし便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回(夏は3回)の入浴を行っている。その日の体調や気分を見て入浴して頂いている。拒否がある時は無理せず、違う日に入って頂くようにしている。	週2回のペースにて入浴を行っており、お湯の温度や入浴時間も利用者の好みや体調に配慮しながら柔軟に対応している。クリスマス会で利用者毎にプレゼントした入浴剤を使用し楽しんだり、入浴後に乳液などでスキンケアを行ったりと心地良い入浴の支援を実践している。	

自己評価	外部評価	項 目(なでしこ温品 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	その日の利用者様の状況を見 ながら、日中はソファや居室で 休んで頂いている。夜間はリ ビングの電気を電球色に変え 眠りを誘う環境づくりをして いる。就寝後は定期的に居室 を巡回し、眠られているか確 認し安心して頂けるように支 援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量に ついて理解しており、服薬の 支援と症状の変化の確認に努 めている。	かかりつけ薬局の薬剤師に週 3回来て頂き、相談・指導を して頂いている。薬の変更が あった場合には内服薬の情報 を保管し全職員が薬剤情報 を見れるようにし用法・用量 等について把握できるように している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている。	家事や食事の手伝いをして頂 いたり、読書や貼り絵など状 況を見て、過ごして頂いてい る。またそれぞれの趣味(編 み物・読書等)が出来る様に 支援している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している。	今年度はコロナ禍でなかなか 外に出られなかったが、緊急 事態宣言解除以降は屋上で の外気浴やマスクをつけての 近所への散歩を今まで通り に支援している。	花見の外出行事など、行きたい ところへできるだけ要望に 応えるように個別の対応や 家族の協力を得ながら実現 に取り組んでいる。コロナ 禍であり現在は外出を自 粛しているが、事業所屋上 や駐車場で外気浴をしたり、 少人数で近所の散歩を行 っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持し 使えるように支援している。	入所時に金銭管理規定につ いてご説明をご家族様も含 めてさせて頂いている。金庫 での預かりと帳簿をつけ数 か月に一度、ご家族様にも 確認をして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 1F)	自己評価	外部評価		
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話の取り扱いなどは入所時にご家族様と相談をさせて頂いている。コロナ禍でご家族様からの手紙も増え、ご本人様にお聞きし必要であれば返信して頂いたり、職員が代筆を行い手紙をお出ししている。</p>	/		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとの飾りつけをしたり、植物を庭に植えリビングから見える様にしている。また利用者様の動線を意識し邪魔になるものが無いようにしている。県（国）の助成制度を活用し、感染防止のためサーキュレーター・空気清浄機・加湿器を新調し、マスク・消毒液等も在庫して感染症対策を強化している。</p>	<p>リビング空間は広く開放的である。庭には植物をプランターで育て、水やりを車椅子の方でも行えて世話ができる様にしている。植えている花など2階から眺める事ができることや保育園から元気な園児の声が聞こえてくるなど、様々な楽しみを感じながらゆったり過ごすことができるよう配慮している。</p>	/	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>利用者様の相性なども考えた席にさせて頂いているが、基本的には自由に移動できるようにしている。またリビングにソファを置き誰でも座れるようにしている。コロナ感染対策として座る位置や間隔の確保など気を付けている。</p>	/		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>生活歴や馴染みの物などをお聞きし置いて頂いたりご本人様が落ち着いて過ごせる空間づくりを心掛けている。ご利用者様がご自分の部屋だと分かりやすいように手作りのネームプレートも付けさせて頂いている。</p>	<p>入居時に自宅の状況などを家族に確認し、配置のこだわりなど個人の要望を聞きながら環境を整えている。使い慣れた物があれば持参でき、タンスや鏡台など馴染みの物に囲まれた空間となっている。習字が好きな方には机など整え習字がいつでもできるようにしたり個々の趣味や特性を活かせるようにしている。</p>	/	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>各所に手すりを設置したり、車いすや自立の方の両方に対応出来るトイレを設置したり、安全で自立した生活が出来る様に工夫している。</p>	/		

V アウトカム項目( なでしこ温品 1F) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の申し送りを各階でするようにしている。また日々の業務の中で理念に添う様努めている。新人職員には暗唱できるように指導している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウイルスの影響により、3月以降温品保育園との交流や地元傾聴ボランティアの方々の訪問、エレクトーン演奏等は自粛していただいている。終息次第、再開して頂くようお願いをしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	保育園の避難訓練の受け入れ(駐車場まで)を継続して行っている。6月には大雨警報があり、実際に施設内に園児の受け入れ行った。新型コロナウイルスの影響により園児の慰問は現在は無いが、受け入れ態勢を整えば再開して頂けるよう保育園とも話をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルスの為、今年度はほとんどの会を中止させて頂いたが、ご家族には毎月の請求書に意見・要望書を同封し、一方、町内会、地域包括支援センターの方、訪問看護師、隣接の保育園の方へは事前に資料を配布し、意見の収集、情報交換等を行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議開催の時は地域包括支援センターの方、介護保険課へ開催のお知らせと出席のお願いをしている。また書面による会議開催後の報告書は毎回介護保険課に提出している。本社あて介護保険課からくる通達等は都度メル配信されており、情報を収集し対処している。		

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束等適正化のための指針」に沿ってフロー・全体会議等で職員とは身体拘束の有無や対策についての話し意識向上を図っている。運営推進会議を同上適正化委員会と位置付けて身体拘束の有無などの報告も行っている。居室のカギは施錠せず、玄関は犯罪防止の観点から常時施錠をさせて頂いている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>入浴時などに体のあざが無いか観察し職員全員で情報を共有している。運営推進会議にて身体拘束と併せ虐待防止の有無についても報告も行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部評価にて第三者からの視点でホームをチェックして頂いたり、家族様や利用者様の話を聞いた情報を職員間で共有し話し合っている。成年後見人制度を利用しておられる方は現在おられないが、必要であれば研修を行う。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所前に所定の重要事項説明書や契約書、看取りの指針等を説明しご家族には内容を理解・納得して頂いたうえで契約、入居されている。又、入居後も本人様やご家族様にお話を伺い不安を取り除くように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご面会・ご連絡時等に要望をお聞きしている。また運営推進会議の開催月の請求書に意見・要望書を同封し書面でも意見等をお聞きし職員に共有・反映をさせている。コロナ禍でご家族を交えた敬老の日の行事を休止しているがこれまで開催時にはご家族との意見交換を行っている。本第三者評価にもとづく貴会からのご家族へのアンケートについては当ホームだけの個別ご意見の公開を求めており、運営に反映させるため実施後に提供されることを望んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は代表者と毎日、メールで報告し指示を受けている。朝、夕の申し送り時や会議などで職員の提案や意見を聞いている。代表者は毎週1回程度訪れており、その際積極的に入居者や職員と意見交換や提案を聞いている。提案や修理・改善等対応も速やかにしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	就業規則を改めて確認し、残業時間の削減、毎月の休日数を8日→9日に増やすなど職場環境の整備・向上に努めた。また会社として色々な休暇制度(育児・介護・看護)がある事を伝え利用を促進している。会社は求人ホームページ等で「サービス残業はない」ことを明示し、実践している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新入社員には担当者をつけ業務内容を教えたり話を聞くようにしている。今年度はリーダー研修受講、自施設での外部講師を招いての接遇研修などを行い介護だけでなく接客・接遇面での育成にも注力した。会社は新たな資格習得等のための費用を一時的に立替える制度を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	なでしこ富士見町や2月に新設されたなでしこ五日市の管理者、職員等と電話やメールで意見交換を行っている。代表者は同業6社で隔月で研修会に参加し情報収集や外国人材の受け入れなど長期的な課題と取り組んでいる。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人様の希望になるべく添えるよう、不安や要望等をお聞きし、情報をフロア内で共有し、本人様が安心して頂けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(なでしこ温品 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時や入居希望の段階でご希望などを伺いしケアプランに反映させるとともに、提供する必要なサービス等をご説明ご検討をして頂いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人様・ご家族様双方のご意見をお聞きし、ご相談をさせて頂きながら、ケアマネを交えて必要なサービス等の利用を検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人様の時間を大事にして頂き、タイミングや状況を見ながら、その日その日に応じて他の利用者様や職員と雑談やレクなどを一緒に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者様に変化があれば、ご家族様にご連絡し、相談に乗って頂きながら、協力し本人様を支えていくように心掛けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>今年度の緊急事態宣言以降は、ご家族様やご友人の方等のご面会は事前にご連絡を頂き、1階玄関のドア越しにて面会できるよう対応を行っている。2Fの利用者様の一部の方は外部駐車場と2F居室の窓越しで安全面に気をつけながら、ご家族様と面会をして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者様同士の相性や関係性を把握しながら、時には職員が間に入り皆様で楽しく会話ができる様に支援している。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	サービス終了後もご相談があれば支援を行っている。また近所のスーパーで出会う事もあり、その時は挨拶をさせて頂いている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	利用者様本人にお話を聞かせて頂いたり、普段の様子なども踏まえ、本人様が楽に過ごして頂けるように努めている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	ご家族様、本人様にお話を伺い今までのお仕事や趣味・特技・好きな事・性格などの生活歴を伺い情報の把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	日々の様子・心身の状態（血圧・体温等）を記録し、また普段より顔色や表情なども毎日意識して見る様に職員にお伝えし、申し送りや記録媒体などで情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	家族様・本人様双方の希望を聞き、それを基にアセスメント・ケアプランを作成している。また面会時などでも随時ご家族様より要望をお聞きし、できるところは最大限に努力している。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	昨年秋よりケア記録をクラウド化し日々の記録を共有している。ヒヤリハットや事故報告も他の2施設と共有し、積極的に職員が気付いたことをアップし確認をしている。ご家族様に相談が必要であれば、連絡・相談し一緒に方向性を検討させて頂いている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご家族様の状況をお聞きしながら、ご家族様と相談し、必要であれば職員対応で病院受診等を行っている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	散歩時などは保育園の先生や園児に挨拶したり、声を掛けられたりし、よりよい関係づくりに努めている。運営推進会議には園長が出席され、行事などの情報交換を行っている。また近所の方には年に数回お花を頂いている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご家族様・利用者様には内科・歯科のかかりつけ医がおられる事お伝えし、2週に一回の往診を受けて頂いている。必要であればかかりつけ医の病院まで受診にお連れしている。10月より神経内科の先生の往診が始まり、かかりつけ医・本人様の希望やご家族様の同意のもとで診て頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	週2回の訪問看護があり、その都度ご利用者様の状態を伝え、より良い看護が受けられるように支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入退院時には関係先の病院と情報交換を常に行い、かかりつけ医や看護師とも相談し退院しても再び戻ってきて頂けるように支援している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	「重度化された場合の対応に係る指針」、緊急時の対応について契約時や入所前のご説明でお話をさせて頂いている。看取り期に入った際には改めて医師・看護師の指示等を受け、看取りについてご家族に説明し、同意書をいただいている。その後は常に日々の状態を記録し看護師・かかりつけ医に相談し、その上でご家族様にも現在の状況を報告し、今後の対応についてご相談を行っている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	フロア会議や申し送りで緊急時の対応や状況を共有している。発生時の状況など振り返り次はもっといい対応が出来る様に話し合いをおこなっている。事故報告にも記録し、いつでも過去の記録を検索して見れるようにしている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	入居者の方にも参加して頂き、避難訓練を行っている。運営推進会議などで地域の方に災害時の見守りをお願いしている。2Fは非常階段からの避難の為、消防署の指導の下、訓練では非常階段入り口まで避難して頂くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(なでしこ温品 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	その利用者様に合わせた声掛けを心掛けています。職員間で情報を共有し、声のトーンや言葉遣いなど注意し尊厳を傷つけない対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	必ず本人様に声掛けをし本人様に色々な物事・事柄を自己決定して頂くように促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のその日その時の気分や機嫌・体調を考慮しながら、生活リズムを崩さないようにどう過ごしたいかを聞いたりして落ち着いて過ごして頂けるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日の更衣時に着る服を相談しながら季節に合わせて好きな服を着て頂くように支援している。また毎月理美容の方にも来ていただき、散髪などのサービスも提供している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	毎月の献立表を掲示板に貼り、いつでも見れるようにしている。ごますりや野菜・果物のカットなど出来る範囲で手伝って頂いている。食事の下膳やお盆拭き、片付けも一緒にして頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目(なでしこ温品 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>入所の方々の水分・食事量は毎日記録している。会社から提供された献立表はカロリー計算に基づいたものであり、これを参考に、調理担当職員が材料を見ながら栄養バランスやカロリーを考えた献立を工夫して作成・調理している。向原の農家から届く玄米を自家精米して手作りの食事を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行っている。毎月1回歯科医、歯科衛生士の往診があり、口腔衛生の事はもちろん食事形態や食に関する事なども相談し個々に合ったケアに努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を作成し、排泄のデータを基にトイレ誘導、自力でのトイレでの排泄、夜間のオムツ交換の回数を減らすように支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄表を作成し、排泄状況を把握し主治医、看護師と排泄状況を相談させて頂いている。また食事には自家製ヨーグルトや牛乳をお出しし便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回（夏は3回）の入浴を行っている。その日の体調や気分を見て入浴して頂いている。拒否がある時は無理せず、違う日に入って頂くようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(なでしこ温品 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>その日の利用者様の状況を見 ながら、日中はソファや居室で 休んで頂いている。夜間はリ ビングの電気を電球色に変え 眠りを誘う環境づくりをして いる。就寝後は定期的に居室 を巡回し、眠られているか確 認し安心して頂けるように支 援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量に ついて理解しており、服薬の 支援と症状の変化の確認に努 めている。</p>	<p>かかりつけ薬局の薬剤師に週 3回来て頂き、相談・指導を して頂いている。薬の変更が あった場合には内服薬の情 報を保管し全職員が薬剤情報 を見れるようにし用法・用量 等について把握できるように している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている。</p>	<p>家事や食事の手伝いをして頂 いたり、読書や貼り絵など状 況を見て、過ごして頂いて いる。またそれぞれの趣味 (編み物・読書等)が出来 る様に支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力し ながら出かけられるように 支援している。</p>	<p>今年度はコロナ禍でなかなか 外に出られなかったが、緊急 事態宣言解除以降は屋上での 外気浴やマスクをつけての 近所への散歩を今まで通り に支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこ との大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に応 じて、お金を所持したり使 えるように支援している。</p>	<p>入所時に金銭管理規定につ いてご説明を家族様も含め てさせて頂いている。金庫 での預かりと帳簿をつけ数 か月に一度、ご家族様にも 確認をして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(なでしこ温品 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話の取り扱いなどは入所時にご家族様と相談をさせて頂いている。コロナ禍でご家族様からの手紙も増え、ご本人様にお聞きし必要であれば返信して頂いたり、職員が代筆を行い手紙をお出ししている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節ごとの飾りつけをしたり、植物を庭に植えリビングから見える様にしている。また利用者様の動線を意識し邪魔になるものが無いようにしている。県（国）の助成制度を活用し、感染防止のためサーキュレーター・空気清浄機・加湿器を新調し、マスク・消毒液等も在庫して感染症対策を強化している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者様の相性なども考えた席にさせて頂いているが、基本的には自由に移動できるようにしている。またリビングにソファを置き誰でも座れるようにしている。コロナ感染対策として座る位置や間隔の確保など気を付けている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	生活歴や馴染みの物などをお聞きし置いて頂いたり本人様が落ち着いて過ごせる空間づくりを心掛けている。利用者様がご自分の部屋だと分かりやすいように手作りのネームプレートも付けさせて頂いている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各所に手すりを設置したり、車いすや自立の方の両方に対応出来るトイレを設置したり、安全で自立した生活が出来る様に工夫している。		

V アウトカム項目(なでしこ温品 2F) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームなでしこ温品

作成日 令和2年3月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念や理念に沿ったケアの実践確認が不足している。	個々の職員へ改めて理念や理念に沿ったケア方針を深める機会を作る。	半年に一回程度、定期的に職員と面談を行い、理念やケア方針の確認や振り返りを行う場を作る。	12か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。